



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月7日

上場会社名 日本ケミコン株式会社

上場取引所 東

コード番号 6997 URL <https://www.chemi-con.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上山 典男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 石井 治

TEL 03-5436-7711

四半期報告書提出予定日 2022年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	77,041	15.8	4,853	39.0	4,803	44.5	514	
2022年3月期第2四半期	66,502	27.4	3,492		3,324		2,497	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 5,508百万円 (32.3%) 2022年3月期第2四半期 4,164百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	25.35	
2022年3月期第2四半期	123.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	167,386	50,222	29.8
2022年3月期	156,140	44,715	28.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 49,875百万円 2022年3月期 44,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	10.5	9,300	5.7	8,800	9.5	3,000		147.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	20,314,833 株	2022年3月期	20,314,833 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	36,260 株	2022年3月期	35,640 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	20,278,889 株	2022年3月期2Q	20,280,264 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料作成時点において入手可能な情報により当社が合理的に判断した予想であり、実際の業績は今後様々な要因により変動する場合があります。上記の業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立が世界各地で進展する中、長期化するウクライナ情勢等を受けた資源価格の高騰などにより一部弱い動きが見られたものの、景気は総じて底堅く推移いたしました。米国・欧州では物価上昇を背景とした政策金利の引き上げにより住宅投資や設備投資が抑制されたほか、中国では主要都市のロックダウンにより一時生産活動が制限されました。また、日本国内においては米国の金融政策の影響により急激に円安が進行したものの、感染症対策の緩和に伴い個人消費が持ち直すなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループを取り巻く市場環境につきましては、産業機器関連市場は企業の設備投資需要の回復を受けて好調となりました。車載関連市場は、半導体不足や中国におけるロックダウン等サプライチェーンの混乱で自動車生産が減少しましたが、電動化・電子化の進展により1台当たりの部品需要は堅調でした。また、ICT市場におきましては、PCの生産・在庫調整が続いたものの、データセンター用サーバー等の需要が堅調に推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループは第9次中期経営計画に基づき、企業価値向上のための諸施策を着実に実行してまいりました。

販売面では、引き続き車載関連市場を始めとする戦略市場に向けて高付加価値な製品を拡販すると共に、価格は正による収益性の改善を図ってまいりました。

生産面では、スマートファクトリー化の取組みとしてMES（製造実行システム）の導入テストを開始し、製造工程で取得した情報を基に設備の稼働状態を一元的に管理する仕組みの本格的な導入に向けた準備を進めてまいりました。

製品開発におきましては、車載電源バックアップ向けに、従来品よりも高電圧化したリード形電気二重層キャパシタ「DKHシリーズ」を新たに開発いたしました。また、DC/DCコンバータやインバータ等の回路ユニット向けの導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサ「HXFシリーズ」に高リプル電流化した新製品を開発し、製品ラインアップを拡充いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は770億41百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益は48億53百万円（前年同期比39.0%増）、経常利益は48億3百万円（前年同期比44.5%増）となりました。しかしながら、独占禁止法関連損失の計上などにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は5億14百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益24億97百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,673億86百万円となり前連結会計年度末に比べて112億45百万円増加いたしました。

流動資産は、1,027億44百万円となり63億10百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加45億31百万円などです。固定資産は、646億41百万円となり49億35百万円増加いたしました。

負債は、1,171億63百万円となり57億38百万円増加いたしました。主な要因は、借入金の増加95億3百万円などです。

純資産は、502億22百万円となり前連結会計年度末に比べて55億6百万円増加いたしました。主な要因は、為替換算調整勘定の増加などです。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の28.4%から29.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月4日に公表いたしました2023年3月期（通期）の連結業績予想に変更はありません。

なお、当第3四半期連結会計期間以降の為替レートについては、1米ドル=135円を前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,760	24,876
受取手形及び売掛金	31,100	35,632
商品及び製品	14,344	16,357
仕掛品	10,929	11,553
原材料及び貯蔵品	6,329	7,343
その他	8,977	6,992
貸倒引当金	△8	△10
流動資産合計	96,434	102,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,036	43,653
減価償却累計額	△31,894	△33,217
建物及び構築物 (純額)	10,142	10,435
機械装置及び運搬具	129,652	137,321
減価償却累計額	△115,269	△121,512
機械装置及び運搬具 (純額)	14,382	15,808
工具、器具及び備品	15,727	16,529
減価償却累計額	△13,845	△14,491
工具、器具及び備品 (純額)	1,881	2,037
土地	6,939	6,956
リース資産	1,566	1,559
減価償却累計額	△959	△1,027
リース資産 (純額)	607	531
使用権資産	3,409	4,678
減価償却累計額	△1,078	△1,244
使用権資産 (純額)	2,330	3,433
建設仮勘定	2,797	2,756
有形固定資産合計	39,081	41,959
無形固定資産	1,809	2,029
投資その他の資産		
投資有価証券	16,301	17,672
その他	2,531	2,997
貸倒引当金	△18	△17
投資その他の資産合計	18,815	20,652
固定資産合計	59,706	64,641
資産合計	156,140	167,386

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,495	10,464
短期借入金	19,901	34,513
未払金	24,099	14,890
未払法人税等	1,101	1,250
賞与引当金	1,912	1,976
その他	12,713	14,109
流動負債合計	69,223	77,204
固定負債		
長期借入金	34,339	29,230
退職給付に係る負債	4,050	4,326
その他	3,811	6,401
固定負債合計	42,201	39,959
負債合計	111,424	117,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,310	24,310
資本剰余金	21,224	21,224
利益剰余金	△7,684	△8,198
自己株式	△108	△109
株主資本合計	37,741	37,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	904	785
為替換算調整勘定	3,970	9,930
退職給付に係る調整累計額	1,800	1,933
その他の包括利益累計額合計	6,676	12,649
非支配株主持分	297	346
純資産合計	44,715	50,222
負債純資産合計	156,140	167,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	66,502	77,041
売上原価	52,329	60,255
売上総利益	14,172	16,786
販売費及び一般管理費	10,680	11,932
営業利益	3,492	4,853
営業外収益		
受取利息	12	25
受取配当金	58	68
持分法による投資利益	381	433
その他	20	88
営業外収益合計	473	615
営業外費用		
支払利息	397	460
資金調達費用	18	163
為替差損	206	—
その他	18	40
営業外費用合計	641	665
経常利益	3,324	4,803
特別利益		
固定資産売却益	3	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産処分損	26	39
独占禁止法関連損失	—	4,305
特別損失合計	26	4,345
税金等調整前四半期純利益	3,301	458
法人税、住民税及び事業税	854	1,003
法人税等調整額	△29	△23
法人税等合計	825	980
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,476	△522
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20	△8
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,497	△514

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,476	△522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	163	△109
為替換算調整勘定	1,278	5,878
退職給付に係る調整額	114	136
持分法適用会社に対する持分相当額	130	125
その他の包括利益合計	1,687	6,030
四半期包括利益	4,164	5,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,181	5,458
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	49

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンデンサ		
売上高			
日本	11,062	1,977	13,039
中国	21,534	82	21,616
米州	6,831	10	6,842
欧州	8,487	0	8,487
その他	16,140	375	16,516
顧客との契約から生じる収益	64,056	2,445	66,502
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	64,056	2,445	66,502
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	64,056	2,445	66,502
セグメント利益	3,249	242	3,492

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CMOSカメラモジュール、アモルフラスチックコイルなどを含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンデンサ		
売上高			
日本	11,929	2,677	14,607
中国	23,003	77	23,081
米州	9,466	16	9,482
欧州	11,235	0	11,236
その他	18,109	524	18,633
顧客との契約から生じる収益	73,744	3,296	77,041
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	73,744	3,296	77,041
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	73,744	3,296	77,041
セグメント利益	4,361	491	4,853

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CMOSカメラモジュール、アモルファスチョークコイルなどを含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。